

## 登録地域建造物資産



第43号

### 御菓子司 菊屋茂富

おんかし きくやしげとみ

|     |             |
|-----|-------------|
| 所在地 | 緑区鳴海町字相原町28 |
| 年代  | 昭和元年築       |
| 用途  | 店舗          |

この建物は旧東海道では珍しい「曲尺之手(かねのて)」になった町境、萬福寺への参道入口に建ち、店は安政年間創業、昭和初年(1926年)に建て替えられた。日本建築の特徴は屋根、ここの見どころは謎めいた3つの紋。まず店名「菊屋茂富」なのに「亀」のような紋、鬼瓦の紋は「鶴」である。そして参道奥に魅力的な古い土蔵があり、その奥棟の鬼瓦は「ヤマにキ」の紋である。また棟瓦を3本の漆喰で固めている。謎を解く鍵はお店で。

